



# 母島ってどんなところ？



**位置** 東京から南に約 1,050km  
(八丈島から約 760km 父島から約 50km 沖縄本島とほぼ同緯度)

**大きさ** 広さ 21km<sup>2</sup> 周囲 58km 島の中央に乳房山 (463m)  
南北に島を縦断する約 17km の道があります  
(1 周道路はありません)。



**交通** 竹芝 ⇒ 父島 おがさわら丸で 24 時間  
(11,000 トン・23.8 ノット【約 44km/h】・894 名)  
父島 ⇒ 母島 ははじま丸に乗り換えて 2 時間  
(499 トン・16.5 ノット【約 31km/h】・200 名)

※小笠原諸島には空港がないため、島までの交通は船のみ。  
※母島にはバス・タクシーなどの公共の交通機関がなく、代わりに有償運送サービスがあります。

**気候** 亜熱帯性気候

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
午前 9 時	17.8	17.9	19.8	21.9	24.1	27.0	28.8	28.8	28.2	26.9	23.7	19.9	23.7
午後 1 時	20.1	20.8	22.6	24.3	26.1	29.3	31.1	31.1	30.7	29.2	25.9	22.0	26.1

平均気温 24.9℃ 最高気温 34.0℃(午後 1 時) 最低気温 14.0℃(午前 9 時) 年間雨量 1,127mm  
※母島には气象台がないため、気温は乳房ダムにて午前 9 時、午後 1 時に計測した数値です。

**人口** 456 人 (2019 年 12 月 1 日現在)

**教育** 母島保育園 (園児 21 人)・母島小中学校 (児童生徒 41 人)  
※母島には高校がないため子供たちは中学校を卒業すると島を離れます。  
※父島にある小笠原高校には母島島民専用の寮があります。



**文化** 南洋踊り、小笠原太鼓、小笠原フラ、タコノ葉細工

**特産品** パッションフルーツ、トマト、レモン、メカジキ、サワラ、ラム酒、島寿司、亀料理など

**見所** 木性シダ類の生い茂る亜熱帯の森、世界で母島だけに棲む「メグロ」、アオウミガメやイルカ・クジラの棲む青い海、独自の進化を遂げた固有の動植物、静かにゆったりと流れる時間

**歴史** 小笠原諸島は江戸時代に発見され、明治 9 年に日本領土として国際的に認められました。大正から昭和頃には、亜熱帯気候を活かした果物や冬野菜などの農業、漁業、捕鯨やサンゴ漁などで栄え、7,000 人余り (母島は約 2,000 人) が暮らしていましたが、昭和 19 年に戦局の悪化で全島民が強制疎開させられ島を離れました。終戦後、小笠原はアメリカ統治となり、母島は昭和 43 年に返還されるまで無人島だったため、返還後、島に戻った時には島中がジャングルと化していました (父島には米軍と欧米系島民が暮らしていた)。そのため、返還後もインフラ整備などに 5 年の歳月がかかり、一般島民の帰島が叶ったのは昭和 48 年でした。

**生活** 戦前は 2 ケ所あった集落も今は沖港のまわりの 1 ケ所だけで、島民のほとんどが顔見知りです。集落内には商店が 3 軒、飲食店が数軒、薬局や娯楽施設はありません。テレビ放送は、昭和 59 年に NHK の衛星放送が、平成 8 年には地上波放送が、平成 23 年からは地上デジタル放送が開始されました。かつてはテレビ放送や娯楽施設が かったこともあり、スポーツや音楽などのサークル活動や、スポーツ大会やお祭りなどのイベントが多く、現在でもほぼ毎月のようにイベントが開催されています。サークル活動では、年に一度父島との交流会があり、島民の 1/3 くらいが参加します。職業は、農業、漁業、観光業、公務員が大半を占めています。携帯電話は平成 11 年から NTT ドコモが、平成 24 年秋からは大手 3 社が利用できるようになりましたが、集落周辺以外はほぼ圏外です。

小笠原母島観光協会

100-2211 東京都小笠原村母島字元地 TEL:04998-3-2300

<https://www.hahajima.com>